

2023.6.27(火)

令和5年度(2023)「少年の主張」檜山地区大会講評

(厚沢部町教育委員会教育長 鈴木 聡)
代読 厚沢部町教育委員会事務局長 安達 達也

それでは、5名の審査委員を代表して、講評をさせていただきます。

先ほど、ステージで、素晴らしい主張を、さわやかに堂々と発表してくれた16名の皆さん、本当に有難うございました。実に立派でした。

絶えず変化する予測困難な現代社会を生きていくためには、これからの世代を担う中学生の皆さんが、今日の発表のように、日常や、社会の様々な出来事に問題意識を持ち、課題を見つけ、集めた情報をもとに考えを深めて、自分なりの答えを持つことがとても大切であり、更に、それを自分の言葉で表現して、実行することは、何よりも重要なことです。

また、発表のスピーチ・論調も、とても若々しく、張りがあって、とても心地良いものでした。

(さらに)本日の皆さんの発表をきいて、自分の思いを堂々と発表するその姿から、皆さんを支えている人たちとの絆や思いが伝わってきて、とても、感動しました。

皆さんは、この檜山大会に至るまで、自分の心に残ったことや感じたことを、伝えるために、話題の展開や表現方法の工夫など、聞く人の心に届くよう、何度も繰り返し練習をしてきたことと思います。

だからこそ、どの発表も中学生らしくさわやかな語り口調の中に、思いが明確に、しかも個性豊かに表現されており、まさに「少年の主張」にふさわしいものでした。

発表内容も、学ぶことの意味、伝統を受け継ぎ高みを目指す覚悟、言葉の持つ力、伝えたい思いと手段、挑戦と克服、全ての命を大切にしたい、できるようになりたい、飢餓のない戦争のない平和な世界を築きたい、と、

実体験はもとより、身の回りにある様々な事柄を取り上げ、自身の言葉で、実感をもって語られていて、一人ひとりの考えや思いが素直に伝わってきました。

また、ここに集った中学生の皆さんも大いに共感できたのではないかと思います。

今後、今日の貴重な経験を生かし、自らの言動に自信と責任をもって活躍されるとともに、さらに高い志を持って、それぞれの夢や希望の実現に向けて歩まれることを期待しています。

本日は、素晴らしい発表を聞く機会をいただき、改めて感謝を申し上げます。

この大会に参加された皆さん、本日の発表に向け、学校行事や中体連等忙しい時期にもかかわらず、熱心にご指導いただきました先生方やご家族の方々に心より感謝申し上げます。

結びに、本日ご来場いただき、最後まで生徒の発表に耳を傾けていただきました皆様にお礼を申し上げますと共に、今後ともこれからの未来豊かな中学生に引き続きご指導・ご支援いただきますようお願いいたします。

そして、本大会の準備・運営に御尽力いただきました、檜山振興局の皆様をはじめ関係の皆様にご心より感謝申し上げます、講評といたします。

